



2014 年度役員&スタッフ決定

5月18日(日)に2014年度総会がまちづくりセンターで行われ、新年度役員・スタッフが決まりました。今年はおリーブ創立20周年という記念すべき年に当たっていて、いろいろな意味で節目となる年ではないかと思えます。新入会員たちのフレッシュな発想でまたまたオリーブ飛躍の年にしたいと思えます。

(代表・KIFA&Facebook オリーブ通信) 恩地美和

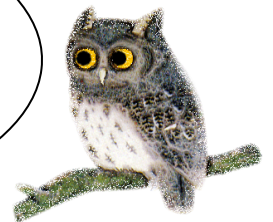


知恵と工夫と労働力を提供して代表をいたわろう!

代表を楽にしようキャンペーン実施中。

期間:今からずっと先まで。

よろしく~



次ページに続く.....

中川先生のへんてこ日本語

④7



疑心暗記

中学の英語の時間などに、よくテキストを暗記するように言われた経験をもちの方も多いと思うが、暗記で学習効果があがるのだろうか。

筆者はよく中国の大学を訪問するのだが、どこへ行っても、学生が朝早く7時ごろから、キャンパス内のお気に入りのお店のスポット(パワースポット?)で一生懸命テキストを暗記している光景を目にする。そばを通ると、何語の学生かすぐに分かる。日本では、そのような光景を見かけることはありえない。

そこで暗記で学習効果があがるのかと言われると、Noとは言えないだろう。以前、入学時のプレースメント・テストで、「私の国と日本」という課題作文を課したら、ある中国の学生が「遣隋使や遣唐使」についてすこぶる詳しく書いていた。あとでよく考えたら、それはある日本語教科書のパッセージそのままであった。

教科書を暗記することによって、「与えられた」課題や問題に対しては、流暢に回答することはできるであろうが、「予想外」に展開する会話やコミュニケーションには、暗記だけではうまく対応できないかもしれない。会話というのは、教科書通りに展開するものではなく、話し手と聞き手との駆け引きによって成立するものであるから、事前に展開を予測するなんてことはできない。

もし観光ガイドなどの職業を目指すのなら、学習言語に限らず母語においても暗記は必要不可欠であろう。

日本では暗記が軽視されている向きもあるが、中国の学生に習って、キャンパス内で教科書を暗記する学習スタイルもまんざらではない。毎朝少し早起きして、近くの公園や川沿いへテキスト片手に出かけていくのもカッコいい。大切なのは、どんな学習スタイルであっても、継続する姿勢であろう。

2014 年度役員・スタッフ



(会長・ブログ) 豊村信良



会社ではコキ使われていますが、オリーブでは会長職。実力はともかく皆さん、指示に従って... いえいえ今年もご協力よろしくお願いします。

(副会長) 中西利夫



マイナス 10 歳目標でいつまでも若さ一杯で頑張っています。

(会計兼入会・図書) 小春京子



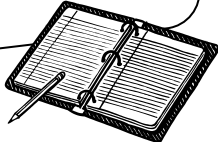
「毎年変わってほしい～」と言ってる会計係り。しかし 20 周年パーティのある今年の会計は積極的にやらせていただきます。



(ホームページ) 田中三千彦



生徒さんのニーズに合った授業を目指したいと思います。



(まちづくりセンター) 田中一美



楽しく学べて役に立つクラスを目指します。



(庶務・図書・入会・受付) 吉田瑛美



明るく楽しいオリーブになるように頑張ります。皆さん、よろしくお願いします。



(BNN 担当) 佐野玲子



「えっ？オリーブの人ってこんなん？」と BNN で言われるように(言われないように)はじめてみますか...?!



(庶務) 小島裕子



昨年に引き続き庶務をさせていただきます。がんばります!!



(ボランティア保険・オリーブ通信)



学習者の人たちが週末のオリーブの日を心待ちにするようなそんな教室作りができれば...と思っています。

(ブログ) 小川良介



オリーブで色々な国の人との出会いを楽しみにしています。皆さん、イベントやパーティーにどんどん参加しましょう

(受付) 渡辺真侑



少しだけのお手伝いですが、オリーブの顔(受付)として頑張ります。息子の成長を暖かく見守って下さい。



(メインリスト) 内田栄美



教室にはなかなか行けませんが、ひそかに幽霊会員で居続けています。ので ヨロシク!

(会計監査) 渡辺寛之・平岡満喜



(その他の会員)

納谷久美子: まいどー! なやこ・なやおでーす! 夫と共にがんばっております。

宇野 幸一: いろいろな国の人と出会えて楽しいです。よろしくお祈りします。

杉山 仁: オリーブに入会してまだ半年ほどの新米です。もっと勉強してわかりやすく教えられたいと思っています。よろしくお祈りします。

王 俊 娜: 2013年9月から田中先生に紹介していただきオリーブの外国人教員になりました。私は将来、中国に帰って日本語の先生になりたいので、オリーブでの教師の経験はとても役に立つと思います。

納谷 茂徳: 人間万事塞翁が馬。楽しんだらいいじゃないですか?

尹佳 : 自分の生活をさらに充実していくためオリーブの一員になりました。日本に住んでいる外国の人のため少しでも手助けができれば…と思います。

☆先日5月24日に行われた子どもくらぶ「たんぽぽ」15周年シンポジウムに参加された小春京子さんからのレポートです。4回にわたり連載します。

子どもくらぶ「たんぽぽ」15周年シンポジウムに参加して ① 5月24日(土) 草津支援センターにて
『細くても 息長〜く 求める子どもがいる限り』



レポート 小春 京子

15年前オリーブで立ち上げ、その後独立したボランティア『たんぽぽ』。当時、出稼ぎのための両親にわけがわからず日本に連れて来られ、日本語のわからぬまま学校に入れられ、辛い幼少時代を送らざるを得なかった外国籍の子どもたち。異国の地で、帰宅しても両親がいない。そんな子どもたちの放課後の居場所作りとしてこの活動はできました。そして、その気持ちは今も変わらず持ち続けておられます。

立ち上げ時は、勉強するよりは同郷の友だちといっぱい喋っていっぱい遊びたい!!という元気な子どもがたくさん来て、ものすごく賑やかでした。15年の間には、「勉強したい」「母語を教えて欲しい」というニーズに合わせた活動、外国籍児童の待遇に対する行政への働きかけの活動、子どもたちの制作による母語劇の発表など、オリーブと同じようにさまざまな活動をされてきたようです。そして、悩みも同じ。「来る子どもが減って何度も辞めようと思った。ある日本気で辞めようと思った。子どもがゼロになり、次の活動日を最後に辞めようということになった。そしたら、子どもが1人来たんです。1人でも来る子がいる限り続けなければと思った。」子どもの募集はかけておらず、口コミのみで来ているとのこと。これもオリーブと同じ。「子どもが来なくなるということは、本当はいいこと。ここを頼らずにやっつけているということだから。」と立ち上げメンバーの一人リリアンさん。しかし、実際には草津以外の近隣の市町からも子どもが来ているとのこと。「本当はどの地域にもこのような場があるべきなんです。」15年経っても当時の課題はまだ残っているようです…。 (つづく)

先月の活動(5月)



日本語教室 5/10(M), 17, 24, 31 (4回)
 総会&懇親会 5/18 (日)
 BNN 会議 5/31 (日) (佐野)
 まちセン運営協議会施設部会 5/15(木) (田中一)



今月の活動予定(6月)



日本語教室 6/7(M), 14, 21, 28 (4回)
 パーティ会議(先生&生徒) 6/7 (土) 20~21時
 BNN 会議 6/1 (佐野)
 草津市市民公益活動団体連協 6/5 (恩地)
 まちセン運営協議会全体会 6/17 (田中一)
 立命館大学ボランティアフェスタ 6/27 (恩地ほか)
 まちセン星座学習会準備 6/28(田中一)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



お知らせ

参加人数 (5月)

	5/10	5/17	5/24	5/31
先生	13人	16人	13人	15人
生徒	20人	25人	24人	21人

会員の動き (5月)

- <入会> なし
- <退会> なし
- <賛助会員> 谷口デボラさん



授業には参加できませんが、
 たまに顔を出すので、また声
 をかけてください。

7月20日オリーブ20周年パーティー
 みんなで盛り上げ、オリーブ日本語教室の
 歴史に思い出深き1ページを残しましょ
 う!!!

多文化共生と地域市民活動と大学生・・・

6月10日(火)立命館大学草津キャンパスにてオリーブ代表恩地さんによる“多文化共生”についての講義がありました。約100名近い学生たちの前でのパワーポイントを使っ
 ての講義。この20年の時代の流れと共に歩んだオリーブの歴史をとっても分かりやすく説明し、1時間もアツという間に過ぎました。残りの30分はそれぞれグループに分かれて
 テーマとしていることについて意見を交わしあいました。



私が参加したグループのうちの1人はこの夏から1年間休学してフィリピンに留学するとの事。“なぜフィリピン?”って聞いた
 ら留学費が安い事とお兄さんが留学してた影響だそう。立命館にはたくさんの留学生も在籍していて、まさに多文化共生を体験できる環境にある。1人でも多くの学生がその環境のもとに多文化に触れ大きく羽ばたいてほしいと思います。
 レポート：重松叡子

編集後記

オリーブ通信担当を簡単に引き受けてしまい、“後悔先に立たず”とはこのこと。しかし引き受けた以上やらなければならないという責任感の強い私。一応、がんばりました。さてこれからの1年、皆様の協力のもとに読みやすいオリーブ通信をつくっていきますので、よろしくお願ひします。(重松)